

事業名	事業の目的	事業概要	グループ名	構成メンバー所属大学
ドローンを活用した次世代教育事業	現代の先進的な技術を使いこなせるようになり、慣れ親しんでもらったりするとともに、2020年から始まるプログラミング教育への前段階としてプログラミングへの距離感を縮めてもらい、様々な新しいモノを受け入れる社会基盤をつくる。	トイドローンを活用した各種コンテンツ (①トイドローンの操縦体験②プログラミングによる自動操縦③ドローンの活用法、ドローンに関するルールなどの習得)を体系化し、教育イベント出展、イベント会社への提供、各種勉強会等の開催を行う。	Beep	九州大学 九州産業大学
未来へ繋げる食育	家庭で料理をすることの楽しさ、大切さを知ってもらうことで次の世代、その先の世代にも受け継がれていく食育を目指す。	地元商店街で購入した食材を使用し、①親子を中心とした料理教室②オリジナルの弁当の販売を行う。 弁当販売による利益の一部をTABLE FORTWOへ寄付し、飢餓で苦しむ子どもたちへの支援を実施。	ksu cooking愛好会	九州産業大学
映像制作を軸とした地域プロデュース事業	地域の文脈を展開し、地域のステークホルダーと相互主観性を構築することで地域を再生のきっかけを与える。	地方中小企業のPRの支援として映像制作を行い、YouTubeチャンネル、各種SNS等で発信しながら、最適なメディアの提案、運用支援を行う。	SuperMax	九州大学 西南学院大学
Q - English	2020年に行われる英語改革に伴い、実用英語が重視される中で、安価で、実用英語を学べる機会を提供する。	海外の一流大学から来た九大の留学生による日本人へのワンコイン英会話指導、スタディサプリを活用した英文法指導を行う。また、英会話指導にとどまらず、レベル別のトピックに対しディスカッション型指導、留学サポート等も実施する。☒	九瑛舎	九州大学
Viz～人と場所をリアルにつなぐ～	地図ベースで画像情報を発信・共有できるSNSアプリを通じて、人と人、人と場所の出会いを増やす。	地域活性化や、新しい出会いを増やすことを目的とし、人と人、人と場所がネットワークを介して実際に出会うことができるスマホのアプリケーションの開発。	MIZUKICHI Lab	九州産業大学
CJ子ども服リユースプロジェクト	環境（エコ）に配慮したシェアリングエコノミービジネス。子ども服を売りたいひとと買いたいひとの縁をつなげ、子ども服が持続的に循環する社会・コミュニティサービスの形成を目指す。	筑紫女学園同窓会組織と連携して、筑紫女学園大学のOGが子供服を売買できるプラットフォーム（サイト）を開発し、安心して子ども服を購入できるサービスを提供する。また、プラットフォームを介して子ども服の寄付を募り、クラウドファンディングによる資金調達をし、リユース子ども服を国内の保育所・児童養護施設に提供、	AMHa(AnotherMother'sHand)	筑紫女学園大学
Hi-TECO	ハイテク自販機を活用し『大学生憧れの実現』をサポートするとともに、『使ってみよう』大学生と『ファンを獲得したい』企業の架け橋となる	大学生へのアンケート結果から選んだサンプル商品などを、AIやIoTの技術を搭載した自販機で提供。購買情報を元に、購入者にとって意味のある情報を配信する。大学生の購買・購入意欲などのデータを自社で収集・分析し、大学生のファンを獲得したいと考えている企業へ情報を提供する。	Hi-TECO	福岡大学 福岡工業大学 西南学院大学